学校・ 旅行会社用

鹿児島あったか農泊体験

「農泊型教育旅行の手引き」

リベルタ株式会社

～概要～

『鹿児島あったか農泊体験』とは、

（その一）
農泊先は、北薩エリア、中薩・南薩エリアの10市町の広域に分かれます。
このエリアのいずれかに、農泊となります。

（その二）
前行程、後行程の都合等によりまして、リクエストベースで受入エリアを調整します。
以前は、1市町に1～3クラスの受入が可能でしたが、
現在は、2～3市町で1クラス受入の形となり、かなり広域での受入となる予定です。

（その三）
体験活動のみ、昼食のみ、宿泊（1泊2食）のみなど、各プログラム単独でのご利用は、
対応できませんので、予めご了承ください。

（その四）
1エリア約40名（1クラス）が定員です。※受入エリア（クラス）ごとに、分泊です。

（その五）
受入家庭1軒あたりの受入定員（生徒数）は、3～4名です。

（その六）
引率者や添乗員等も、各受入エリアごとの宿泊施設に、分泊となります。
受入エリア調整後、各受入エリアの主なホテルリストをお渡ししますので、
学校・旅行会社側にて予約をお願い致します。

（注意）

・受入家庭は、冠婚葬祭、その他の諸事情により、変更となる場合があります。

・体験内容は、天候やその他の状況により、直前または当日に変更になる場合があります。

・体験は、天候やその他の状況により、数軒の家庭が合同で実施、あるいは観光等を取り入れる場合があります。

私たちは、皆さんを「お客さま」としてではなく「家族」としてお迎えします。

農泊型教育旅行「鹿児島あったか農泊体験」では
鹿児島の海の恵み、山の恵み、そして人の温かさを
“まるごと”体験していただくことができます。

ふれあい体験の大きな柱である「農泊」では
それぞれ地域の“日常の暮らし”を体験していただきます。

農家さんや漁師さんは、仕事をするとき
海と相談します。畑と相談します。
そして、空と大地に相談します。

「しばらく天気がいいから、田植えができるな！」
「海が荒れそうだから、今日は網の手入れをしよう！」
「明日ぐらいには、収穫できそうだ！」

私たちの暮らしには、“何もない日”はありません。
鹿児島での「暮らし」ありのままを体験してください。

そして何より、
受入家庭の方々は皆さんを、
「自分の子ども・孫と同じように」家族としてお迎えします。
鹿児島のお父さん、お母さんと一緒に、
普段経験することができない多くのことを体験していただくのはもちろんのこと、
食事の準備から後かたづけ、食後の語らいまで、
「家族」と過ごす何気ない時間の全てを楽しんでください。

私たちは、
鹿児島に来られる皆さんの
「ふれあいを通して生まれるぬくもりの思い出」づくりを
お手伝いさせていただきます。

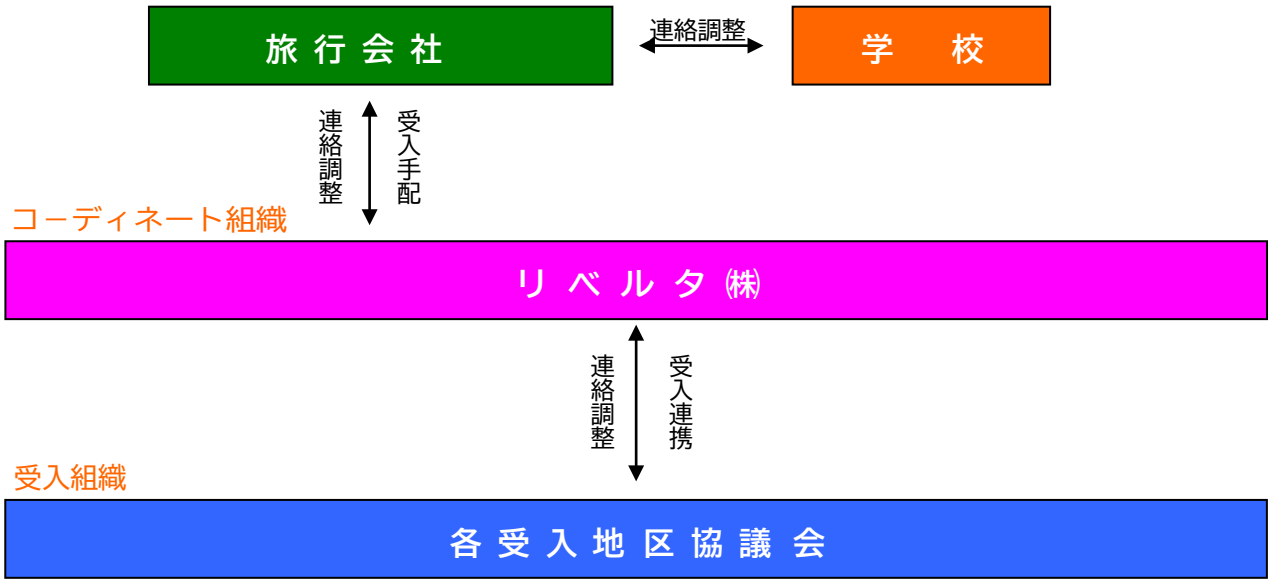
＜もくじ＞

P3～4	**農泊受入体制**（受入組織/受入エリア一覧）
P5～7	**実施**（滞在時間/民泊のスケジュール、内容/引率者様のスケジュール、内容）
P8～10	**実施までの調整・手配、準備**（農泊エリアの決定/農泊スケジュールの決定/アレルギー情報のとりまとめ/農泊先家庭の決定/自己紹介カードの作成等）
P11	**生徒へ**（安全管理のお願い/準備物）
	実施後（お礼状の作成/お支払いについて）
P12	**予約・キャンセル**
	農泊先下見

農泊受入体制

鹿児島県内(10市町)における農泊型教育旅行の受入れは、コーディネート組織である【リベルタ㈱】を中心に、受入組織である各協議会及びそれを所管する行政・NPOなどとの協働・連携により実施されています。

※連絡に関するご注意※ 受入家庭との連絡・調整は、すべて事務局が行います。
学校、旅行会社から受入家庭への直接の連絡はご遠慮いただいております。



1.リベルタ㈱
リベルタ㈱(以降「事務局」)は、学校と受入組織である協議会とを結びつけるコーディネート組織です。10市町の協議会窓口を一括で引き受け、実施までの各種事前調整・手配を担っています。

2.協議会
修学旅行生の農泊受入は、受入組織である「協議会」が引き受けています。

- 協議会は、グリーン・ツーリズムの推進を目的に組織された任意団体です。
- 10市町の協議会が、農泊受入の取り組みに参加しています。(2021年05月現在)
- 各協議会は、鹿児島県の発行した「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」に基づき、年01回以上の食品安全講習会、救命救急講習会を実施し、農泊受入を行う会員(受入家庭)への講習を義務付けています。

3.受入家庭
受入家庭は、1泊または、2泊で修学旅行生の農泊受入を行っています。

- 受入家庭は、協議会に所属しています。
- 受入家庭は、鹿児島県の発行した「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」に基づいて、修学旅行生の農泊受入を行っています。
- 受入家庭は、万一の際に備え、協議会が実施する食品安全講習会、救命救急講習会を年1回以上受講しています。
- 受入家庭は、不慮の事故に備え「賠償責任保険」に加入しています。

4.受入地区
受入地区は、2～3市町(予定)にて、1クラス(約40名)の受入を行います。広域での受入となります。

- 北薩エリア(4市町)
- 中薩・南薩エリア(6市)

このエリアのいずれかに民泊していただきます。(次ページ 参照)

（受入エリア一覧）

＜北薩エリア＞

薩摩川内市 ⑦

さ つ ま 町 ⑧

伊 佐 市 ⑨

湧 水 町 ⑩

＜中薩・南薩エリア＞

南さつま市 ①

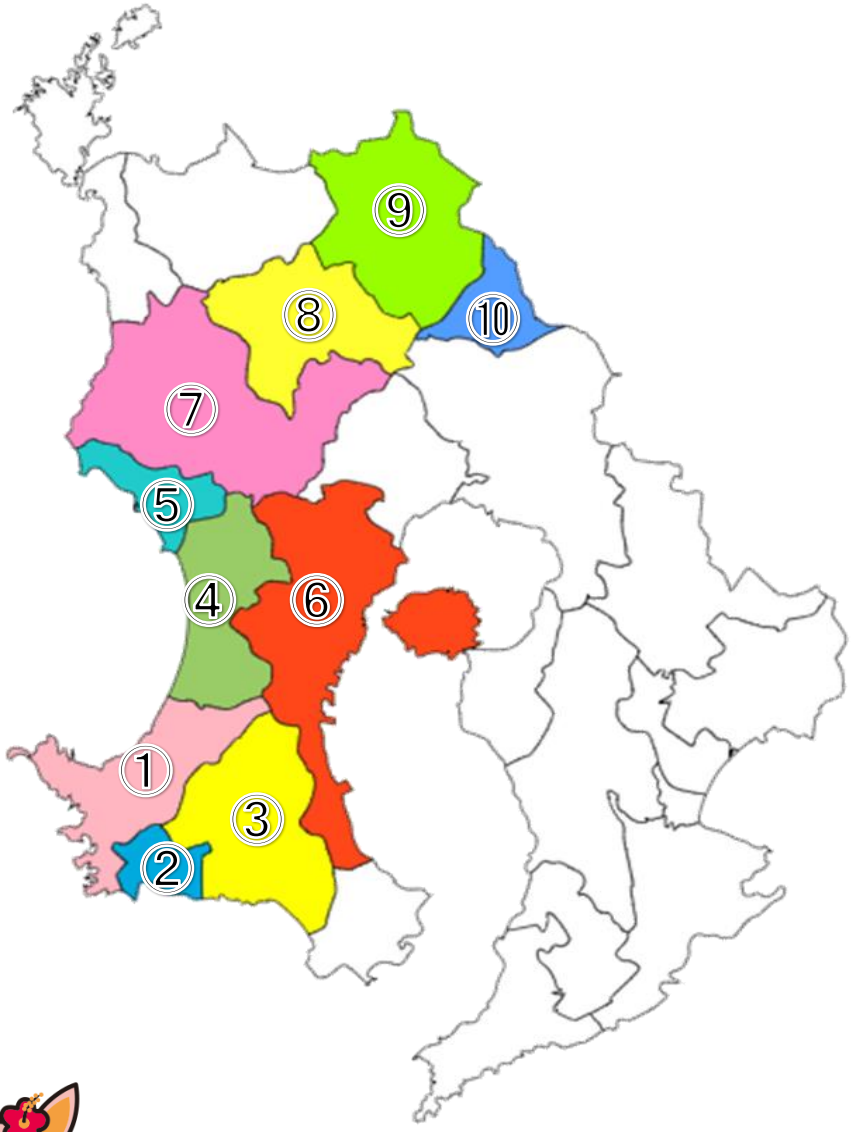
枕 崎 市 ②

南 九 州 市 ③

日 置 市 ④

いちき串木野市 ⑤

鹿児島市　⑥



※出水、垂水、大隅半島地域は、独自での農泊受入です。

＜農泊先の決定について＞

1 農泊のエリアは、北薩エリア、中薩・南薩エリアの広域に分かれます。
　このエリアのいずれかに農泊していただきます。

2 前行程、後行程のご都合等によりまして、リクエストベースで受入エリアを調整します。
　2～3市町で1クラス受入の形となり、かなり広域での受入となる予定です。

3 農泊先のエリアは、基本それぞれが隣接するように手配しますが、場合によっては、ご希望に添えない場合がございます。

実施

農泊のスケジュールと、それに伴う引率者等のスケジュール、準備物など、実施に関する内容は以下の通りです。

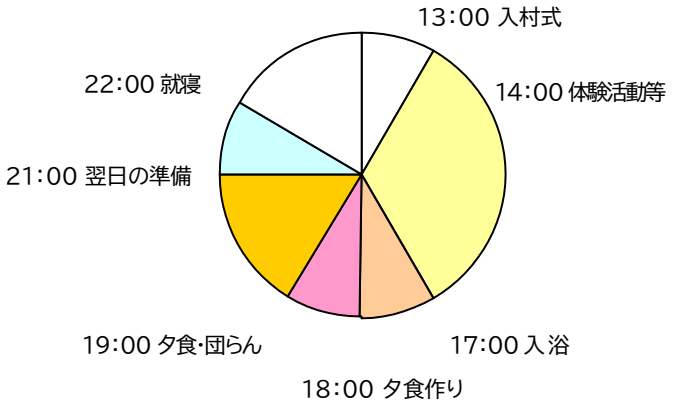
1.滞在時間

滞在時間は、日中の体験活動、宿泊（1泊2食）などの組合わせで決定されます。

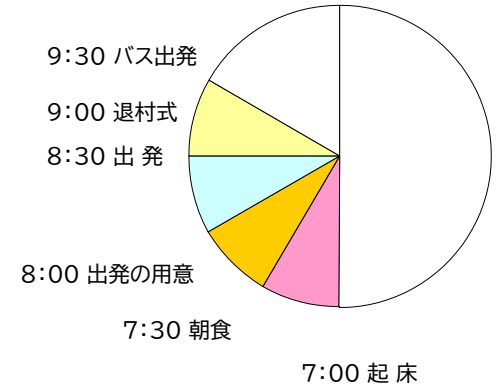
＜1泊2日プランの場合のおすすめプラン＞

1日目に体験活動を行い、2日目の朝に出発する1泊2日のスタンダードプランです。体験を1日目の午後に実施するのは、体験後、夕方には入浴できるためです。汚れを気にせず、思いっきり体験活動に集中できます。

1日目



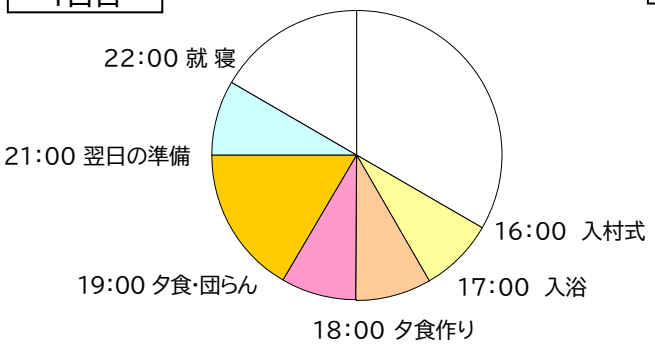
2日目



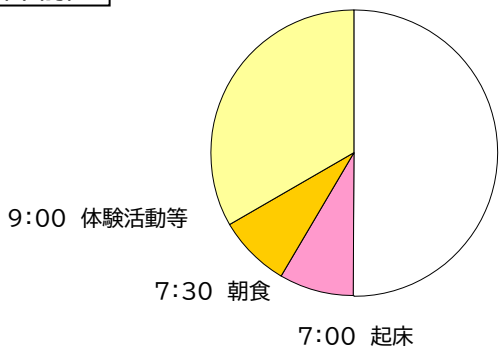
＜2泊3日プランの場合のおすすめプラン＞

農泊を修学旅行のメインに考えている学校様におすすめのプランです。たっぷりと時間をとることができるため、絶景を観に行く、田舎遊びをする、地域の行事に参加するなど、体験活動の内容が１ 泊の場合より充実します。受入家庭と生徒との交流もより深まる傾向があります。農泊以外の行程の充実化も図るため、1日目と3日目に体験時間をとらない下記のプランをおすすめします。

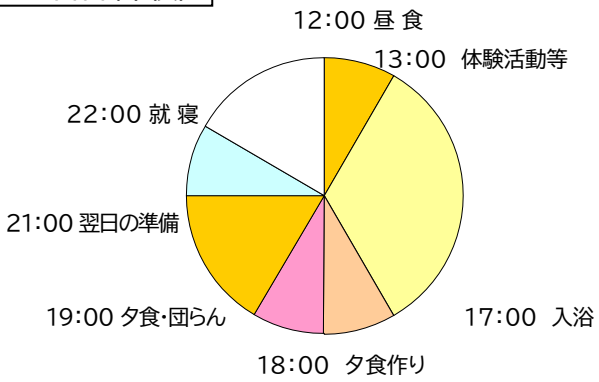
1日目



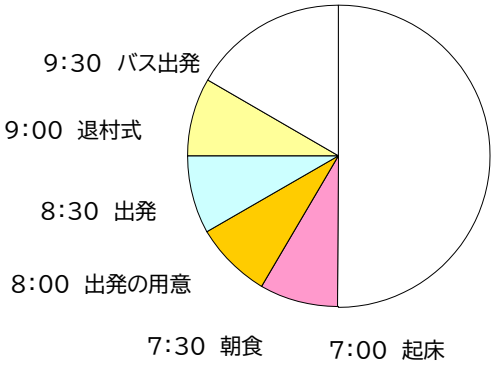
2日目（午前）



２ 日目（午後）



３ 日目



※農泊の前行程、後行程のご都合により、農泊スケジュールを調整することが可能ですが、お早めにご相談ください。

2.農泊のスケジュール、内容

農泊は、日中の体験活動、宿泊(1泊2食)などからなります。

- 入村式 …受入家庭との対面
- 体験活動 …農作業などの仕事体験がメイン
- 宿泊(1泊2食) …入浴、夕食、就寝、朝食
- 退村式 …受入家庭とのお別れ

＜入村式、退村式＞

入村式は受入家庭との初対面の場で、退村式は受入家庭とのお別れの場です。入村式終了後、生徒は農泊先の受入家庭の車に乗り、移動し、農泊スタートです。

《入村式の流れ》
(1)生徒代表のあいさつ
(2)先生のあいさつ
(3)地区担当者のあいさつ
(4)受入家庭の紹介

《退村式の流れ》
(1)生徒代表のあいさつ
(2)先生のあいさつ
(3)地区担当者のあいさつ

1 式は、各々の農泊先ごとに執り行います。
2 式の所要時間は、入村式・退村式共に、おおよそ15分程度です。
3 式の司会進行は、入村式・退村式共に、地区の担当者もしくは、生徒にて行います。
4 式の内容は、生徒代表のあいさつ、先生のあいさつ、地区担当者のあいさつで構成されます。ごあいさつをされる方をあらかじめお決めください。

＜宿泊(1泊２食)＞

宿泊(1泊2食)(※以降「宿泊」)は、入浴、夕食、就寝、朝食から構成されます。

1 入浴は、受入家庭の自宅、もしくは温泉にて済ませます。温泉を利用する際の料金は、通常、受入家庭が負担します。
2 食事の時間・メニューは、家庭ごとに異なります。また、食事の支度・後片付けを積極的にお手伝いいただきます。
3 消灯時刻は、家庭ごとに異なります。おおよそ22:00～23:00 です。

＜日中の体験活動＞

日中の体験活動(以降「体験」)は、受入家庭の日常生活に沿って実施するものです。

1 体験は、「仕事体験」と「余暇体験」に分かれます。
2 「仕事体験」の「仕事」とは、受入家庭の家業を指します。業種は農業・農作業が最も多く、畜産業、漁業があとに続きます。
3 「余暇体験」の「余暇」とは、仕事のあとの休息を指します。絶景を観に行く、田舎遊びをする、地域の行事に参加する、お茶をするなど、時間の過ごし方は様々です。
4 「仕事体験」と「余暇体験」の割合は、受入家庭ごと(またはエリアごと)に異なります。
5 体験の実施、継続、中止の判断は、受入家庭が行います。
6 予定していた体験を中止する場合は、別の体験を実施します。
7 例えば休耕など、やむを得ず体験を用意できない場合は、他の家庭と合同で体験を実施する場合があります。
8 時間や天候上などの事由により、観光を取り入れる場合があります。
※注意 体験は、受入家庭の日常生活に沿って実施するものです。内容を指定することはできません。あらかじめご了承ください。

3.引率者や添乗員等のスケジュール、内容

日中は巡回を通して生徒の体験の様子を確認し、夜間は緊急対応に備えてご宿泊先にて待機となります。

＜巡回＞

生徒の体験の様子等を確認するために、巡回を行うことができます。

1 巡回時間は、おおよそ9:00～17:00です。出発時間に合わせて、ご宿泊先までお迎えに行き、巡回終了次第、ご宿泊先までお送りします。
2 巡回のご案内は、各受入地区の巡回担当者が務めます。(事務局にて巡回は行いません。)
3 巡回車は、受入エリアごとにご用意しますが、エリアによりましては、途中で車の乗り換えが生じることがあります。
4 巡回は、巡回担当者の用意する車にて、巡回担当者の運転または、先導にて行います。
5 巡回人数は、1台につき3名までです。
6 巡回軒数は、1時間に2～3軒程度ですが、体験場所等によって異なりますので、行程、巡回可能時間等によっては、全受入家庭の巡回ができないこともあります。予めご了承ください。

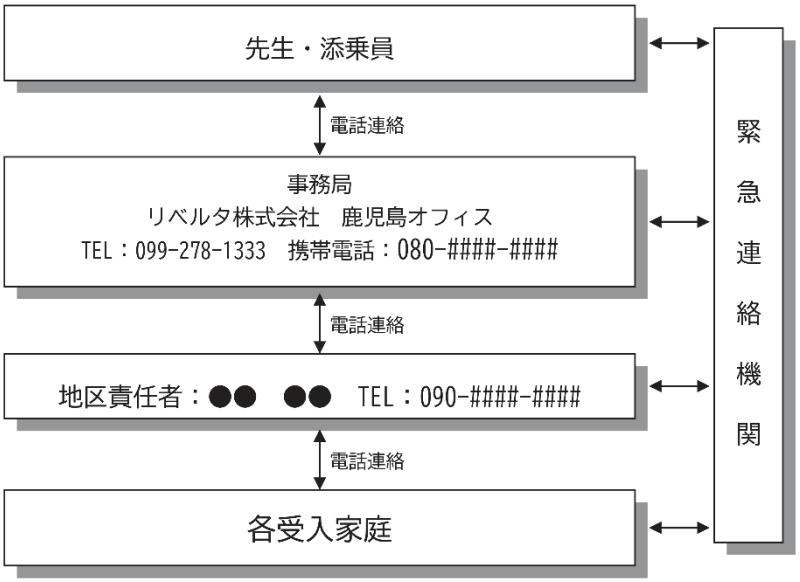
＜ご宿泊＞
引率者や添乗員等は、各受入地区のホテルまたは旅館にてご宿泊となります、受入地区が決定次第、各地区の宿泊施設をご紹介しますので、**旅行会社にて手配をお願いいたします**。引率者や添乗員も各クラスの受入地区にて分宿となります。

1 ご宿泊先は、基本、各地区につき、1施設ですが、地区によっては他地区と同じになることもあります。
2 ご宿泊人数は、各地区とも3名でお願いしています。（巡回車の定員上。）
3 ご宿泊先は、バスの到着場所からおおよそ5～40分圏内にあります。
※各地区とも4名以上ご宿泊の場合や巡回がない場合の各集合場所⇔各宿泊先の移動は、借り上げた（修学旅行用）バスにてご移動いただきます。

＜緊急時対応＞
生徒が体調不良などの異常を訴えた場合は、下記の緊急連絡網に従って電話連絡を行い、その対処方法について、先生にご判断いただきます（電話での判断が難しい場合は、巡回担当者が生徒のもとまで先生をお送りします）。緊急性が著しく高い場合は、受入家庭が生徒を病院へ連れて行く、もしくは119番通報による救急車対応となります。以上の内容を、受入家庭、地区責任者（巡回担当者）、事務局、添乗員、先生間で情報伝達し、速やかに対応します。

『鹿児島あったか農泊体験』緊急連絡網

（●●地区）



緊急連絡機関

機関名	住所	電話	保険証ｺﾋﾟｰ	診療科目
●●病院	●●市　＃＃＃＃			内科
▲▲病院	●●市　＃＃＃＃			外科・整形外・胃腸・内科
◆◆医院	●●市　＃＃＃＃			気管食道・耳鼻咽喉・ｱﾚﾙｷﾞｰ科
消防				
警察				
●●保健所	●●市　＃＃＃＃			

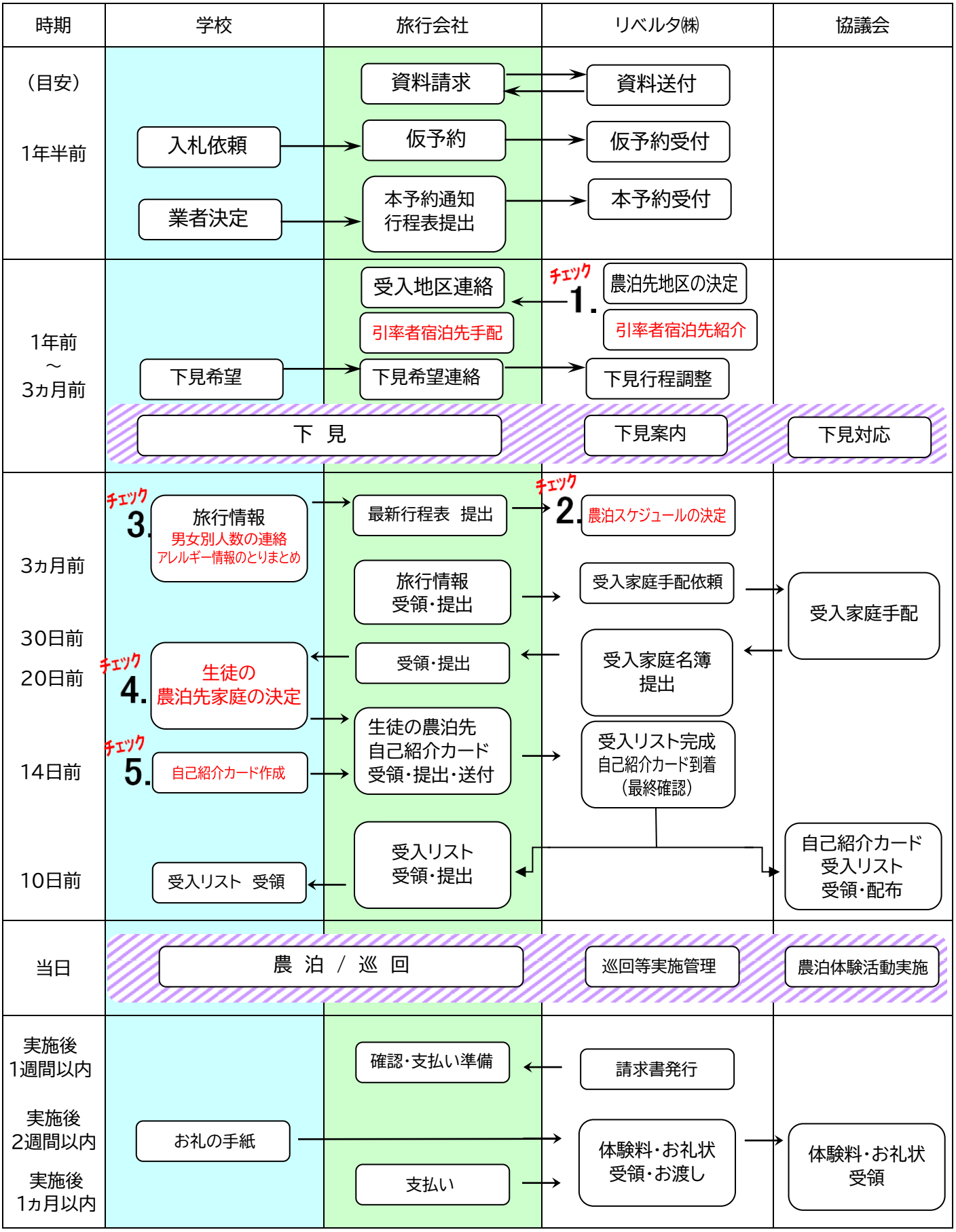
※　各受入家庭の皆様は、緊急発生時にはまず緊急連絡機関に連絡し、その後地区責任者に連絡。
その際、
①病気・怪我⇒（発生時間・生徒の名前・病状・病院名）
②火事・事件⇒（通報時間・状況）
を必ず報告して下さい。

※地区責任者の方は、各受入家庭からの情報を事務局に正確に伝達し指示に従って下さい。

1 緊急連絡網は、緊急時の流れをまとめた資料です。
2 緊急連絡網は、各受入地区で作成しています。
3 生徒様の情報は、生徒様→受入家庭→地区責任者（巡回担当者）→事務局→添乗員様→学校様の順に、電話にて伝達します。
4 生徒様が体調不良などの異常を訴えた場合は、緊急連絡網の流れに従って電話連絡を行い、対処方法について先生にご判断をいただきます。
5 緊急性が著しく高い場合は、受入家庭が生徒様を病院へお連れする、もしくは119番通報による救急搬送にて対応いたします。
6 緊急連絡機関は、病院、消防、警察、保健所です。

実施までの調整・手配

実施までの調整・手配の大まかな流れは以下の通りです。詳細については、各項目の参照ページをご覧ください。



※新学期のクラス編成の時期の調整・手配については、上記スケジュールに限りません（要相談）。

＜受入リスト＞

実施までの事前調整・手配には、下記のシート（以降「受入リスト」）を使用させていただいております。受入リストは、農泊先1地区につき、1枚作成します。

A

〇〇中学校様　　1組　男子　16　女子　7　計23名　巡回：原則3名以下

2011年6月1日（水）　10:00頃到着予定（集合時間　　）　2011年6月2日（木）　9:00頃出発予定（集合時間　　）　1泊

（前行程：8:30 指宿温泉発）　（後行程：10:00 照国神社前着）

到着地：〇〇センター駐車場　〇〇市〇〇町1-2-3

出発地：同上　同上

B

先生宿　〇〇ホテル　〇〇市〇〇町567　TEL：099-000-000　先生２名　添乗員１名　看護師０名　カメラ０名

〇〇地区責任者	氏名：〇〇 〇〇	電話番号：090-1234-5678	旅行会社名：〇〇旅行 〇〇支店 〇〇様

C　D

	地区	氏　名	郵便番号	住所	主な体験	犬猫	人員	生徒氏名			
								氏名	氏名	氏名	氏名
1	〇〇	薩摩 一郎	899-0000	〇〇町〇〇2617	アスパラガス 野菜収穫・管理	犬外	男 3	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
2	〇〇	薩摩 次郎	899-0000	〇〇町〇〇14211-1	水稲・野菜管理 そば打ち		男 3	〇〇 〇〇 ソバ（枕も）	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
3	〇〇	薩摩 三郎	899-0000	〇〇町〇〇281	さつま芋	犬外	男 3	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
4	〇〇	薩摩 四郎	899-0000	〇〇町〇〇280-3	アスパラガス 収穫・管理		男 3	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
5	〇〇	薩摩 五郎	899-0000	〇〇町〇〇2406	野菜管理		男 4	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 エビ・カニ	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇
6	〇〇	薩摩 六郎	899-0000	〇〇町〇〇7941	野菜管理 （牛・馬の世話）		女 3	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 猫	
7	〇〇	薩摩 七郎	899-0000	〇〇町〇〇3609	さつま芋	内猫	女 4	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇
8											
9											
10											
11											

※体験は天候やその他の状況で変更となる場合がございます。

【基本情報】

A スケジュール / 集合場所情報

B 引率者等のご宿泊先・人数 / 地区担当者氏名・電話番号 / 旅行会社担当者情報

【民泊先】

C 受入家庭情報【地区名、受入家庭氏名、住所、主な体験、ペット情報、定員（性別・人数）】

D 生徒情報【生徒氏名、アレルギー・その他特記情報】

＜調整・手配項目＞

実施までの事前調整・手配項目は下記の通りです。

チェック

1. 農泊先地区の決定

修学旅行の本決定連絡をいただき、他校の状況等調整しながら農泊先を選定・決定し、お知らせします。

1 農泊先は、北薩エリア、中薩・南薩エリアの広域に分かれます。このエリアのいずれかに農泊となります。

2 農泊先は、10市町あります。農泊先は、この中からの組み合わせで決定します。

3 農泊先は、基本それぞれが隣接するように手配しますが、場合によって、ご希望に添えない場合があります。

引率者や添乗員のご宿泊先紹介・手配（*B*）

引率者や添乗員等のご宿泊先の手配は、旅行会社にお願いしています。受入地区が決定次第、各地区の主な宿泊施設をご紹介します。手配に際しての注意事項は 7 ページの＜ご宿泊＞をご参照ください。

※原則として、ホテルまたは旅館に宿泊となります。
生徒の事情等によりましては、引率者と生徒での農泊も可能ですが、対応可能地区・家庭が限られておりますので、ご希望の際は、事前に事務局まで必ずご相談ください。

（紹介例）

宿泊日	氏　名	担当地区	宿泊施設	住　所	TEL	部屋種類
5/16（水）～1泊	先生（男）	南九州	さくら館	南九州市知覧町郡17156	0993-83-4421	1名1室
	先生（男）					1名1室
	先生（女）					1名1室
	先生（女）					1名1室
	先生（男）	枕崎	グリーンホテル福住	枕崎市岩戸町189	0993-72-0200	1名1室
	先生（女）					1名1室
	添乗員					1名1室
	先生（男）	南さつま市	加世田よしや	南さつま市加世田本町44-20	0993-53-5527	1名1室
	先生（女）					1名1室
	添乗員					1名1室
	先生（女）	吹上	吹上砂丘荘	日置市吹上町今田1004-3	099-296-2330	1名1室（温泉）
	先生（女）					1名1室（温泉）
	添乗員					1名1室（温泉）
	先生（男）	いちき串木野	ホテルアクシアくしきの	いちき串木野市長崎町101	0996-32-4177	1名1室（和室）
	先生（男）					1名1室（和室）
	看護師					1名1室（和室）
	カメラマン					1名1室（和室）

チェック

2.農泊スケジュールの決定（*A*）

入村式の時間、退村式の時間など農泊のスケジュールを組みます。

事務局宛に、最新の修学旅行の行程表をお送りください。

※注意 行程が不確定な場合、調整を進行することができません。行程が決定し次第、速やかに行程表を事務局にお送りください。

※注意 行程の内容が変更された場合は、都度最新の行程表を事務局へお送りください。場合によっては体験料が変動する場合がございます。

チェック

3. 生徒情報

1. 各受入地区に入る男女別人数
2. アレルギー情報の取りまとめ

生徒の、食べ物や動物等に対するアレルギーの有・無について、必ず学校にて取りまとめていただき、事務局にお知らせください。受入家庭に伝えます。また、下図のように、受入リストには、*D* の生徒氏名欄（氏名下部）に表記します。

薩摩 一郎 そば 猫	大隅 二郎 エビ・カニ	桜島 三郎

※桜島三郎くんは、アレルギーを特に持っていないため、アレルギー欄は、無表記となります。

また、アレルギー以外にも生徒に対して学校やご家庭において配慮されている事項がある場合は、必ず事前に事務局にご相談ください。（例:　心身障害、不登校、夜尿症、怪我、既往病歴など）。

⇒配慮すべき事項によっては、引率者等と一緒にホテルまたは旅館泊をお願いする場合があります。

※注意　特別な配慮が必要でありながら、事前のご連絡がないと受入家庭で対応できない場合がございますので、必ず事前にご相談ください。
なお、症状・事項によって受入可能であっても、事前に受入家庭を指定させていただくことがございます。

チェック

4.農泊先家庭の決定（*C*、*D*）

生徒が、どの家庭に農泊するかを決定します。調整方法は下記の通りです。

①事務局にて、各受入地区と実際に受入を行う受入家庭を手配します。（受入リスト *C*）・・・おおよそ実施の2～3ヶ月前
・手配期間として、約1ヶ月の時間がかかります。
・手配が完了し次第、*C* の箇所（受入家庭情報）を記入した受入リストをお渡しします。・・・おおよそ実施の1ヶ月前

②*C* 入力済の受入リストをもとに、学校にて、生徒の農泊先家庭を決定してください。（受入リスト *D*）・・・おおよそ実施の21日前
・各地区、約40名（1 クラス）が定員です。
・受入家庭1軒あたり、3～4名を定員としております。
・生徒のアレルギーと各家庭の体験、ペットとの組合せには十分にご注意ください。
・犬・猫などペットが苦手な生徒が、ペットを飼っている家庭に入らないようご注意ください。

チェック

5. 自己紹介カードの制作

自己紹介カードは、実施前に受入家庭へ渡す必要がありますので、実施日の2週間前を目途に事務局宛にお送りください。
尚、実施間際での到着となりますと、受入家庭の受入準備に支障をきたしますので、ご容赦ください。

生徒へ

1.安全管理のお願い

安心・安全な農泊の実施には生徒の協力も必要です。以下5点、ご協力をお願いします。

～農泊体験時の約束～

（1）　受入家庭の方の指示に従って行動してください。
（2）　受入家庭の方から離れないでください。
（3）　体調を崩さないよう、自分の体調管理に注意してください。
（4）　体調不良や怪我をした場合は、無理をせず、必ず受入家庭へ申し出てください。
（5）　貴重品は、各自で責任を持って管理してください。

2.準備物

農泊中に使用する基本準備物一覧です。お忘れ物のないように事前のチェックをお願いします。

＜家業体験に必要なもの＞

体験時の服装は、切り傷・かぶれなどの怪我を未然に防ぐために、長袖・長ズボンが基本です。

- □帽子
- □タオル
- □軍手
- □作業着（長袖・長ズボン、またはつなぎ）
- □作業靴（運動靴など汚れても良く、滑らないものが良い）

＜宿泊に必要なもの＞

食事、就寝の際に使用するもの【食器類、寝具（ふとん、枕など）】は、すべて受入家庭にて準備します。その他、入浴、歯磨きなどの際に必要と思われるもの（バスタオル、歯ブラシ等）は、各自ご持参ください。

- □寝間着（パジャマなど）
- □バスタオル
- □歯ブラシ
- □歯磨き粉
- □その他洗面道具
- □その他着替え（下着、靴下、Tシャツなど）

＜必要に応じて＞

上記以外に必要と思われる持参品があれば、事前に確認し、忘れ物のないようにしましょう。

- □ドライヤー
- □常備薬
- □コンタクトレンズ関連用具

実施後

1.お礼状の作成

事後学習として、生徒から受入家庭に宛てたお礼のお手紙の作成をお勧めしています。家庭さんの活力となり、大変喜ばれています。

- 形式はどのようなものでも結構です。これまでのお礼の手紙としては、葉書、便箋、色紙、写真など様々でした。
- お礼の手紙は、実施後1ヶ月以内を目途に事務局まで一括してお送りください。

2.お支払いについて

実施後、2週間以内に事務局より旅行会社に請求書を送らせていただきます。遅くとも、**実施後1ヶ月以内に当事務局の指定口座へ料金をお振り込みください。**

※ご利用料金は、「体験料金」と表記しております。旅館業法、食品衛生法、消防法などに基づく営業認可を受けている民宿とは異なり、一般の家庭が「鹿児島県における「農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」に基づき、体験として生徒の受入れを行っているためです。

予約・キャンセル

＜ご予約・キャンセル方法＞

ご予約・キャンセル等は、下記【eメール、FAX】にて承っております。

| e-mail: farmstay@heartlandjapan.com,　Fax番号: 099-278-0148 |

1.仮予約のお申込み
希望日程、学校情報(学校名、クラス数、生徒・引率者数)、旅行会社名、ご担当者情報など、基本情報をお知らせください。
返信・返送を以って、仮予約受付(またはキャンセル待ち受付等)を完了とさせていただきます。
※キャンセル・日程変更の際は、速やかにご連絡・ご相談ください。

・受入地区のご希望がある場合は、仮予約の段階でお申し出ください。
リクエストベースにて、お預かりします。
尚、受入地区につきましては、「本決定」順に決定・ご案内となります。仮予約時点で希望地区に空きがあっても、本決定校の日程変更等により、ご希望に添えられない場合がございますので、予めご了承ください。

2.本予約のお申込み
お分かりになった段階で、速やかにご連絡ください。返信・返送を以って本予約受付完了とさせていただき、
以降、民泊先の決定作業など、受入の準備を開始いたします。

＊＊＊　テレワーク中心のため、返信が遅れる場合があります。ご了承ください。　＊＊＊

農泊先下見

農泊先の地区を事務局スタッフがご案内します。下見の内容は、おおよそ下記の通りです。

・集合場所の確認
受入家庭と生徒が初対面する会場をご案内します。生徒がバスから乗り降りする駐車場の広さ、入・退村式会場の広さ、トイレ、雨天対応方法などをご確認いただけます。

・受入家庭の紹介
実際に生徒の農泊受入を行っている家庭さんとお会いすることで、農泊時の体験などの様子・流れなどを聞くことができます。
但し、日程・時間等、都合が合わないことによって、対応できない場合がございます。

・引率者や添乗員のご宿泊先の確認
引率者等が宿泊予定のホテルまたは旅館にお連れします。受入当日の引率者の動きのご確認などにお役立てください。
(実際の宿泊施設予約は、旅行会社で行っていただきます。)

※実施時期　・・・修学旅行実施日の1年前をお勧めしております。予定されている期日と同じ時期に下見をすることで、その時期の暑さ・寒さ、各地域の主な体験など、その時期の受入地区の様子をご理解いただけるためです。

※その他　・・・下見の時間によって、ご案内できるエリアが異なります。
また、移動手段のご用意がございませんので、予めレンタカーやタクシーの手配をお願いしております。

『**鹿児島あったか農泊体験**』についてのお問い合わせは

リベルタ株式会社

LIBERTA

リベルタ株式会社　鹿児島オフィス
〒899-2705
鹿児島県鹿児島市直木町4596番地(アグリッチまつもと内)
TEL: 099-278-1333
FAX: 099-278-0148
e-mail: farmstay@heartlandjapan.com
休業日:　土曜日・日曜日・祝日・年末年始等